

中松金型株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>中松金型株式会社は、金型設計製造とプラスチックを扱う会社として、近年、問題となっている海洋プラスチックと森林伐採問題への取り組みを重点的に行なっており、成形過程で不要となった再生可能なプラスチックはリサイクルし、再び材料として使う取り組みを行なっております。金型設計時においては、紙図面の出力を極力避け、デジタルデータでのやり取りに転換しました。また雇用の安定と持続可能な経済成長を目指すためには従業員にとって働きやすい会社であることが大事であると考え、その一つとして在宅勤務を可能とし、通勤の負担、家族の急な病気や介護で休むことへの心理的負担などを減らし、働きがいと満足度を高める経営を目指しています。この取り組みを行なうとともに、年1回以上のCADを体験するワークショップを開催、工場見学の受け入れを実施し、社会の信頼に応える製造業の実現を目指しています。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 8、3	リモートワークの実施	デスクワーク者など、リモートワーク可能な従業員を対象に2022年中に全員(100%)を実施可能な環境にする
	社会 4、11	<ul style="list-style-type: none"> ・CADを使ったワークショップの開催 ・工場見学の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップは2025年まで随時(年1回以上)開催 ・工場見学は2025年まで随時(年1回以上)受け入れを行う
環境 7、12、13、14、15	<ul style="list-style-type: none"> ・省電力機器の導入 ・ペーパーレス ・再生可能な不要プラスチックの再利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明導入 2025年までに本社工場全体を完全LED化 ・コピー用紙の使用削減 2021年 841mm×150M(2ロール), A3(500枚/1束), A4(500枚/2束)購入 →2025年までに90%削減 ・不要成形品リサイクル率 2025年までにほぼ100%(再生可能なプラスチックのみ) 	